# (3) 記載例【地域分析シート】

地域づくりを進めていくには、まず「地域を知る」ことが大切です。皆さんの「地域カルテ」のようなものです。 できるだけたくさん・具体的に情報を集めましょう。

地域名( 〇〇市 〇〇地区

記入者

・子どもが減少しているので 20 年後が心配である。

・活発的な高齢者が多く、よく町内会活動に参加している。

【STEP 1 】「地域の現状・実態・特性」を調べて示しましょう。

地 域 の 現状

域の

- ・商店街はシャッターがおりている店が多い。
- ・公園はあるが遊具が壊れ、子どもの遊び場がない。
- ・郊外に出かけたくてもバスの本数が少なく大変である。
- ・人口は多いが地域の人々のつながりが薄い。
- ・地域には敬老会・青年団・女性団体・子ども会がある。・・土砂災害の危険個所が5か所ある。
- 自主防災組織が5年前に組織された。
- ・地域の人口〇〇〇〇人(世帯数〇〇〇〇)
- ・地区に学習塾や習い事をする場がない。

・地域は〇〇〇世帯で三世代が多い。

- ・交通事故が2年連続発生した。
- ・社会教育関係団体がたくさんある。
- ・公民館 開館日数〇〇〇日、利用者〇〇〇〇人 講座数〇〇〇講座 ・外国籍の方が多く住んでいる。
- ・高齢者を対象とした、体操やレクリエーション的な講座が盛んである。

## 【STEP2】 見えてきた地域の実態から、「地域の課題」を把握しましょう。(地域社会のニーズや住民の要望等のバランスを考慮)

- ・商店街は空き店舗が多く活気がない。
- ・地区外の人にとって抜け道になっており、死亡事故は起きていないが、高齢者や子どもの交通事故が心配である。
- ・地域に塾がなく、いろいろ習い事をするには、バスもなく車で行くしかなく、夜遅くは心配で自転車では行けない。
- ・高齢者が安心して、散歩できるとよい。
- ・外国籍の方が年々増えてきているが、交流の機会が少ない。 ・子育てに優しい施設や公園がない。
- ・地震が増えてきており山崩れが起きないか心配である。
- ・役員のなり手が少ない。
- ・ボランティア活動への参加が消極的である。
- ・知識や経験が豊富な高齢者がいるが、活躍する場が少ない。
- ・公民館の講座がマンネリ化していて参加者が決まっている。
- ・団体の構成員が減少し、活動の不活発化が進んでいる。
- 社会教育関係団体の連携が十分でない。

### 【STEP3】「地域の資源(ヒト・モノ・コト)」を積極的に活用するために、アンテナを高くして広く、できるだけ具体的に 洗い出しましょう。

(いつも見慣れた・ありふれた資源と思っても、その活用法によって宝になる場合もあります。多方面から捉えましょう。)

・地域には多くの防災士、社会教育士がいる。

- ・料理が得意な方が女性団体にいる ・敬老会
- ・青年団の中に、かつて外国の会社で10年間も勤めていた人がいる。
- ・地域には、書道の達人や〇〇名人、さらには元学校の先生がたくさんいる。
- ・地域に伝わる民話を語ることができる人がいる。

・幼稚園や小学校、中学校がある。 モノ

- 〇〇の産地である。 ・商店街の空き店舗がある。
- 公園や文化施設がある。
- まちの人しか知らない名水がある。
- ・キャンプ場がある。
- ・自然豊かな〇〇森林や〇〇川がある。
- ・外国籍の方が多く勤める企業がある。 ・高齢者施設がある。
- SDGs に取り組む会社がある。

コト ・多くの人が集まる祭りやバーベキュー大会がある。

- ・昔、河童が隠れ住んでいたと言われている大岩の伝説がある。
- ・伝統行事〇〇には、高齢者が中心となり活躍している。
- ・道の駅でイワナが人気になるなど、地産地消に取り組んでいる。

#### 【STEP4】「理想の地域像」「将来像」など課題解決の方向性についてイメージを描いてみましょう。

地域の資源

(宝)

- ・町内外の人が集い、いつも賑わっている商店街にしたい。
- ・国籍や年齢など関係なく全ての住民が安心して暮らせるまちにしたい。
- ・子どもが地域で学べる環境が欲しい。
- ・地域にある自然を活用した高齢者の生きがいづくりの場が欲しい。

## 【その他】これから皆で共通理解する必要があると思う事項がありましたらどんどん記載しよう。

・外国籍の方は、主にどんな国から来ているのか。・外国籍の方が参加しやすい行事は何か。

地域分析シートを基にして【企画シート『コデル CoDeL』】を作成していきましょう。